

平成18年度 農林水産試験研究 中間評価結果（外部評価）

平成18年8月17日

番号	機関名	課題名	研究期間	研究概要	総合評価	コメント
1	農総研	リンゴ新品種「秋星」の栽培技術の確立	H16～20	農総研が育成した「秋星」は着色、食味に優れた中生品種で、あられ被害等のリスクのある「ふじ」に偏重した品種構成を是正するためにも、収穫適期や落果防止法、適正着果量を明らかにし、現地に普及できる栽培技術を確立する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県を代表するリンゴ「秋星」は、昨年のテスト販売の効果もあって、県民が待ち望んでいる。</li> <li>・収穫適期が農家自身で判定可能となるのはすばらしい。</li> <li>・ジケロールブロップ液剤の濃度は是非検討してほしい。</li> <li>・研究のテーマ、栽培技術の確立は高く評価できる。実用化に向けて精力的な取組を期待したい。</li> <li>・ブランド化の推進のためにも、今後のマーケティングが重要ポイントとなる。成果の利用・発展と数値目標がマーケティングと呼応した現実感のあるものとなることを期待したい。</li> <li>・火を通しておいしい（酸味の強い）リンゴの需要はある。加工用品種はほしい。（農家が栽培したいかどうか問題）</li> </ul>